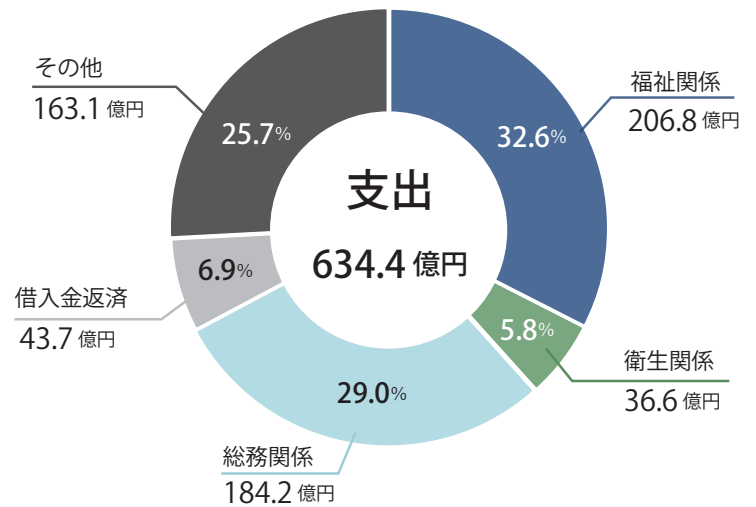
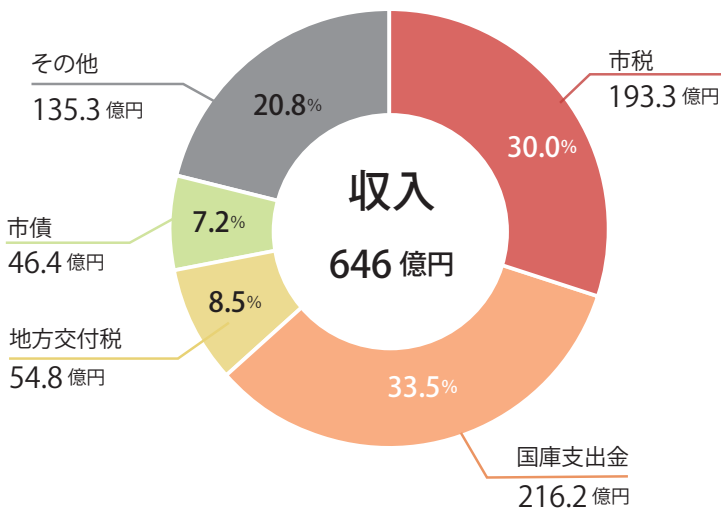


収支の内訳

令和2年度一般会計決算は、
歳入決算額 646 億円、歳出決算額 634 億 4,000 万円となりました。



令和2年度

決算

について お知らせします

財政課 ☎ 65-1220 FAX 65-1216

決算って？

4月1日から翌年3月31日までの1年間で、どのような収入があり、どのように使ったか（支出）を明らかにするものです。

通常、地方公共団体が
黒字か赤字かは、
この実質収支で判断します。

形式収支は？

形式収支とは、一般会計の収入から支出を差し引いた金額のことです。

令和2年度は 11 億 6,000 万円の黒字となりました。

収入 646 億円 - 支出 634.4 億円

⇒ 11.6 億円の黒字

実質収支は？

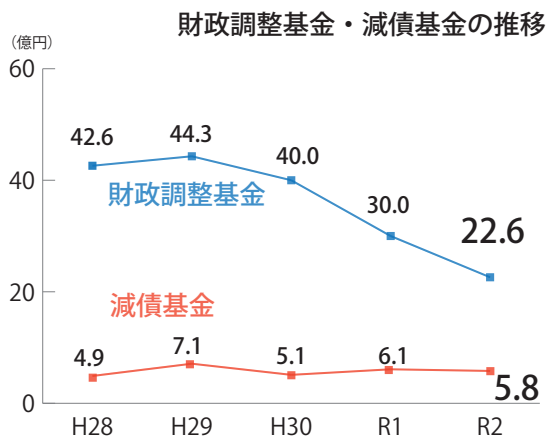
実質収支とは、形式収支から翌年度への繰越財源（翌年度に繰り越す事業の実施に必要な財源）を差し引いた金額のことです。

令和2年度は 9 億円の黒字となりました。

形式収支 11.6 億円 - 繰越財源 2.6 億円

⇒ 9 億円の黒字

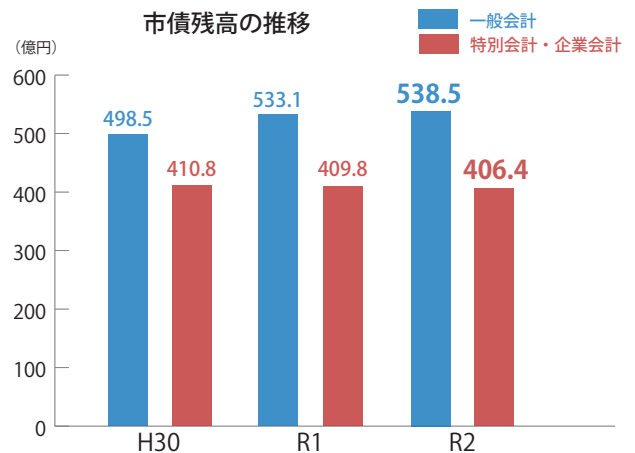
積立金（基金）の状況



積立金は、皆さんの家計で言う「貯金」に当たります。そのうち、使い道が自由な財政調整基金の現在高は、令和元年度と比較して7億4,000万円減少し、22億6,000万円となりました。

また、借入金返済のために積み立てる減債基金の現在高は、令和元年度と比較して3,000万円減少し、5億8,000万円となりました。

借入金（市債）の状況



借入金は、将来にわたって使われる学校や道路などの公共施設を整備する場合などに、市が借り入れる資金のことです。

一般会計と特別会計、企業会計を合わせた市債残高は、令和元年度と比較して2億円増加し、944億9,000万円となりました。

令和2年度の実施事業

令和2年度に実施した600を超える事業の中で、主なものを紹介します。



消防自動車整備事業 3億1,031万円
40m級はしご車などの消防車両を更新したほか、トイレカーの導入を行いました。



まちなか産直市場開設支援事業 6,000万円
(株)銅夢市場と新居浜商店街連盟が行った「まちなか産直市場」の開設に対する補助を行いました。



平形外山線改良事業 5,349万円
「平形外山線」の南中学校西側約100m区間の拡幅改良工事が完了し、供用を開始しました。



生涯活躍のまち拠点施設整備事業 5億2,479万円
平成29年度末に閉校となった旧若宮小学校が、生涯活躍のまち拠点施設（ワクリエ新居浜）として生まれ変わりました。



認定こども園施設整備事業 3億9,225万円
幼稚園型認定こども園に移行するために実施した菊本幼稚園園舎改築事業に補助を行いました。



小中学校 ICT 環境整備推進事業費 4億4,667万円
小中学校の児童・生徒に、一人一台のタブレット端末を導入しました。